



福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう102

オオムラサキ

分類 チョウ目 タテハチョウ科

大きさ 50~55mm

住んでいる環境

- ・エノキ（幼虫の食べる葉）
- ・コナラやクヌギ（成虫の食べる樹液）がある雑木林

見られる時期

- ・6月下旬～7月下旬

小鳥の森で見られる場所

- ・ネイチャーセンター付近
- ・各小径

オスのはねは
きれいな青紫いろてづか れおなさん（10才）が
かいてくれました

6月 いきものニュース

台風の被害を受けた田んぼで

昨年10月の台風19号の影響で、小鳥の森の休耕田（作物を作らなくなった田んぼ）も大きな被害を受けました。山の土砂が雨で流れ休耕田に積もったため、トンボなど水生生物の住む環境がほとんどなくなってしまいました。そこで今年2月、休耕田復元のための土砂上げを行いました。どうにか土砂を取り除くことはできましたが、トンボの数は成虫が確認できる季節になるまではっきりとわかりません。

6月になり休耕田を訪れると、思った以上にトンボが飛び交っており驚きました。シオヤトンボやオオシオカラトンボ、小さく綺麗な水色のオゼイトトンボを確認できました。しかし残念ながら、例年なら見られるキイトトンボやオオイトトンボの姿はありません。

それらの中で生き残っているものが出て、再び数が増えてくれることを期待します。また、土砂上げ後の水辺で産卵しているトンボが確認できたので、そのヤゴが育ってくれることも願っています。



土砂上げ前

土砂上げ後

※黄色い点線は水面の大きさ



オオシオカラトンボ



オゼイトトンボ



キイトトンボ

目的はいろいろ

ネイチャーセンターのすぐ脇に、**エノキ**の木があります。
エノキは**オオムラサキ**（国蝶）や**ゴマダラチョウ**の食樹。
幼虫が葉をエサにします。8月になるとそれらの蝶が**産卵**に
訪れます。運がよければ産卵シーンに立ち会えることも。

また、同じ時期、エノキは**実**を色づかせ始めます。この
実を食べに、**メジロ**、**ヒヨドリ**、**アオゲラ**などの野鳥が集



エノキに産卵する
ゴマダラチョウ



葉に産卵された
オオムラサキの卵

まります。子育てを終えた**コムクドリ**の群れが渡り（越冬する場所
に向かう）途中に立ち寄ったこともあります。

同じ木ではありますが、やってくる生き物たちの**目的**（食べるも
の）は**いろいろ**。エノキ以外の木でも、このようなことは観察できま
す。どの木にどんな生き物が一緒に見られるのか探してみるのも面白
いかもしれませんね。



コムクドリ

スタッフだより

木登り上手

みなさんは「ヘビも木を登る」ということは
知っていますか？エサを探している時、敵から逃
げる時など、ヘビは木に登るのです。特にアオダ
イショウは木登り上手。では、あの長い体でどの
ように登っていくのでしょうか。

木の幹や枝に巻きついて登るのではありません。
ポイントはウロコ。ヘビのお腹には背中とは違う
形のウロコがあります。このウロコの角を木のデ
コボコしたところに引っかけて登っていくのです。地面で
も同じようにして前に進みます。ですから、ウロコの引っ
かからないツルツルした板や
棒は登れないのです。足のな
いヘビの木登り面白いですね。



（レンジャー ますぶち しょうた）

出前講座のご案内

小鳥の森では、市内の学校や学習センターなど
様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外
からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など
色々な講座内容を用意しております。季節や人数、
活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わ
せも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2
週間前までに電話かFAXにてお申し込みくださ
い（※希望日
に予約が入っ
ていた場合、
対応できない
こともござい
ますので、ご
了承ください）。



出前講座のようす

* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年7・8月号No.413／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま